

参加者には
エンディング
ノートを
プレゼント！

お寺で終活

主催：真宗大谷派光明寺



第22回「終活セミナー」

「終活」とは、死にゆくための準備、ということだけではありません。

やがて終わりを迎える私の、または親やパートナーの人生に向き合い、心配なことを相談・整理し、お一人お一人が今のいのちを安心して生きて往(ゆく)ための活動です。

元気に過ごしている今のうちから、少しずつ確認し、整理をして、家族や地域社会とのコミュニケーションの中で、大切な一日一日を心安らかに生きていきましょう。

そのためには、どのようなことを準備すればよいのでしょうか。

お寺という場所で、一緒に考えてみませんか？

今回のテーマは二本立てです。一つ目は「エンディングノートと私の物語」といたし、住職よりお話しさせていただきます。もう一つ、こちらがメインですが「日本人のアドバンス・ケア・プランニングと信仰心」とし、福島県の白河厚生総合病院で総合診療医として終末期医療に携わる宮下淳医師にお越しいただき、お話しさせていただきます。

宮下先生は、人生の最終段階における治療やケアの選択に信仰心がどのように影響するかということについてアンケートを取られ、終末期医療について研究されています。光明寺でも、アンケートやインタビューにご協力させていただきましたので、そのご報告も兼ねて、楽しみに聞かせていただきたいと思います。

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）または人生会議と言われていることが、日本ではあまり浸透していないように思われますが、エンディングノートは、大切な人との対話のきっかけになるのではないかと思います。誰かと一緒に、お話しをしながら書き進めていくエンディングノートの使い方について、住職よりお話しいたします。

今回は、お寺でご参加いただきました皆さまに、東本願寺真宗会館発行のエンディングノートをプレゼントいたします。

参加費は無料です。どなたでもご参加いただけますので、ぜひ、この機会に「終活」について、一緒に考えてみませんか？

今回もお寺での参加と「Zoom」との併催となります。ただし、お寺での参加定員は24名とさせていただきます。

参加を希望される方は、裏面をご参考のうえ、お寺へご連絡ください。

日時：2024年8月17日（土） 14時～16時ころ

会場：真宗大谷派 光明寺（江東区千田 9-7 TEL：03-3644-3043）

詳しくは、裏面をご覧ください

一日程



14時 開会 住職挨拶

14時 5分 セミナー①

「エンディングノートと私の物語」

光明寺住職 小林尚樹

14時30分 セミナー②

「日本人のアドバンス・ケア・プランニングと信仰心」

白河厚生総合病院 医師 宮下淳先生

宮下淳先生のプロフィール

2003年京都大学医学部卒。総合診療医として関西の病院で研鑽を積み、2015年から福島県の白河厚生総合病院で総合診療医として診療に従事しながら、アドバンス・ケア・プランニングに関する臨床研究を実施している。

15時30分 質疑応答というコミュニケーション

16時 閉会

①お寺での参加をご希望の方(定員: 24名、講師の話を直接お聞きできます)

お電話かFAX、またはメール(②参照)でお申し込み下さい。

電話: 03-3644-3043 FAX: 03-3644-3075

②「Zoom」でのご参加を希望の方(インターネットにより視聴します)

Facebookのメッセージまたはメールにてお申し込みください。

Mail: koumyouji@koumyouji-fukagawa.or.jp

開催日までに、「Zoom」ミーティンググループのURL及びミーティングID、パスワードをお送りいたします。

**※換気をし、消毒・除菌に十分配慮いたしますので、マスクの着用につきましてはそれぞれのご判断で結構です。
お出かけ前には検温し、無理をせずご参加ください。**